

腹部大動脈瘤の80%、胸部大動脈瘤の49%に施行 進化する大動脈ステントグラフト 適応拡大でさらに広がる治療選択

荻窪病院
地域連携ニュース
12月

心臓血管外科の浅野と申します。いつも大切な患者さんをご紹介頂きありがとうございます。

大動脈ステントグラフト内挿術は大動脈疾患に対する画期的な低侵襲治療として2007年から保険収載され、その後デバイスの進歩と良好な治療成績を背景に急速に広まり、15年経過して現在は大動脈疾患に対する標準治療法の1つとして定着しています。

全国的な統計によると、胸部大動脈手術21,624例のうち5,792例(26%)※1でステントグラフト内挿術が行われており、その割合は増加傾向にあります。腹部大動脈瘤手術においてはさらにその傾向が顕著で20,160例のうち12,425例(61%)※2がステントグラフト治療となっています。

ステントグラフト治療に適した血管であるかどうか—その見極めが重要

当院でも最近の3年間では胸部大動脈疾患193例のうち95例(49%)、腹部大動脈疾患109例のうち87例(80%)にステントグラフト治療を行っています。開胸や開腹の手術に比べると身体への負担が少ないため、入院期間も短く、はやく元の生活に戻ることができるので患者さんにメリットが大きい治療であると感じています。

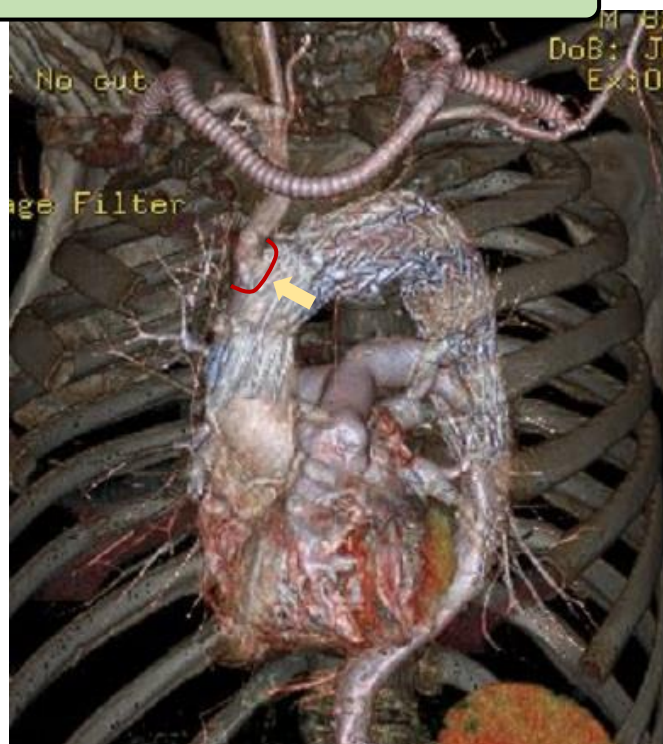
ステントグラフト治療はすべての患者さんに適応できるわけではありません。大動脈や腸骨動脈の形状によっては適応できないこともあります。また、遠隔期にステントグラフトのずれやエンドリークにより追加治療を要する場合があります。腹部大動脈瘤患者1252名について、開腹人工血管置換術とステントグラフト内挿術を比較した海外の



●心臓血管センター/心臓血管外科 医長
浅野 竜太 あさの りょうた

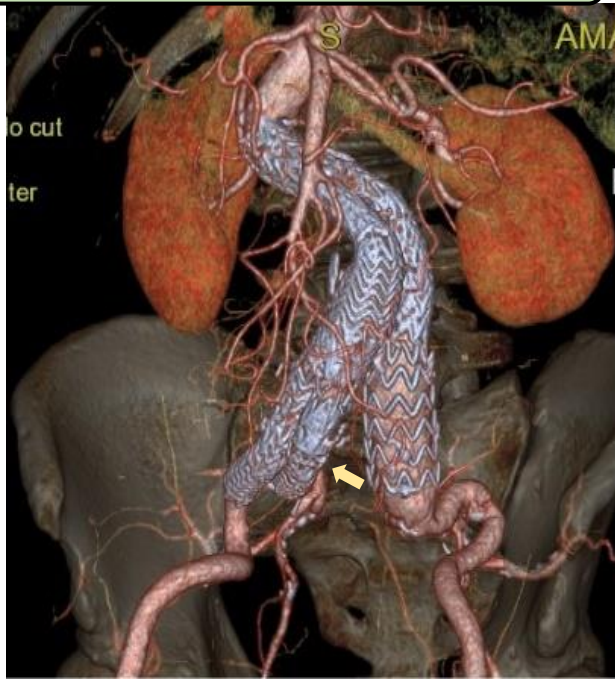
- ・2001年 山形大学 卒業
- ・医学博士 ・日本外科学会外科専門医
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構
心臓血管外科専門医・修練指導医
- ・日本ステントグラフト実施基準管理委員会
腹部大動脈瘤ステントグラフト指導医
胸部大動脈瘤ステントグラフト指導医

穴あき胸部大動脈ステントグラフト



患者さんの血管の形状に合わせてステントグラフトに穴(矢印)を開けることで、腕頭動脈の血流温存が可能となった症例

枝付き腹部大動脈ステントグラフト



枝付き（矢印）のステントグラフト。右内腸骨動脈の血流を温存できる

※1 Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2018 Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery
 ※2 血管外科手術アニュアルレポート 2018 年

無作為比較試験において、早期成績はステントグラフト群が優位でしたが、術後8年を超えると開腹手術群が優位になるという結果でした（EVAR1 trial）。遠隔期のステントグラフトのずれや、エンドリークが影響していると考えられています。良好な長期成績を得るためには、ステントグラフト治療に適した血管形状であるかどうかをしっかりと検討する必要があります。

ステントグラフトはさらに進化しています。エンドリーク予防のための改良のほか、重要な分枝血管を閉塞しないように穴が開いたステントグラフトや、分枝血管にも留置できる枝付きステントグラフトが登場し、適応が拡大しています。これからも低侵襲治療が広がることは間違いありません。ステントグラフト治療の低侵襲性というメリットと遠隔期の再治療のリスクを考慮し、患者さんひとりひとりの生活背景に合わせて最適な治療法を選択することが重要です。治療適応かと思われる患者さんがいらしたら、ぜひご相談ください。

3年ぶり

第13回 荻窪病院医療懇話会を開催いたしました



感染防止対策のため、講義形式の席配置で開催



司会の石井康宏副院長



来賓挨拶を述べられる稲葉貴子杉並区医師会長



布袋祐子院長

12月6日（火）、都内ホテルにて第13回荻窪病院医療懇話会を開催いたしました。コロナ禍のため3年ぶりの開催となった当会。多くの地域の先生方にご参加いただき、布袋祐子院長からは当院のコロナ対応を、各診療科からは現在の取り組みについて、お伝えさせて頂きました。当院はこれからも、時勢に合った、地域の先生方から必要とされる医療の提供に尽力してまいります。

入職医師の
ご紹介
(9月～11月)

●消化器内科
荒金 直美
あらかね なおみ
消化器内科、内科一般の診療を担当させていただきます。地域の皆さんに少しでも貢献できるように、頑張りたいと思います。

●整形外科
山本 雅貴
やまもと まさき
整形外科の診療を担当させていただきます。地域の皆様の健康を第一に考え、診療に取り組みます。

●産婦人科
祝井 麻希
いわい まき
患者さんにとって最適な治療を提供してまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

●産婦人科
原田 祐一
はらだ ゆういち
この度、荻窪病院産婦人科で勤務することになりました。地域の皆様の健康を支えられるよう、日々精進して参ります。何卒よろしくお願ひいたします。

●放射線科
横山 陽一
よこやま よういち
皆様のお役に立てるよう、努めて参りたいと思います。

ご紹介・ご相談は

荻窪病院 地域連携室 発行：2022年12月

月～金 8：30～18：30 土 8：30～12：00 TEL 03-3399-0257 FAX 03-3399-0258 〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24